令和７（2025）年度
茨城県立水戸飯富特別支援学校グランドデザイン

昭和60年４月開校
（創立41周年）

＜校訓＞
あかるく　　なかよく　　たくましく

学　校　教　育　目　標

◎　児童生徒が自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行い、「生きる力」の育成を目指す。

目指す児童生徒像
○すすんであいさつをする子
○友達と協力して活動する子
○自分の力を信じ挑戦する子

目指す学校像
○朗らかで楽しい学校
○穏やかで安心できる学校
○和やかで信頼される学校

目指す教師像
○自ら学び続ける教師
○子供の学びに伴走できる教師
○仲間と連携・協働できる教師

中　期　的　目　標

１．安心して学習や生活できる「安全・安心」な教育環境づくりに努める。
２．児童生徒一人一人の学びや生活のしやすさを高め、生活に結び付いた確かな学力の定着を図る。
３．地域資源を効果的に活用し、地域に根ざしたキャリア教育を推進する。
４．幼児教育施設・小・中・高等学校等との連携を密にし、地域の特別支援教育の充実に寄与する。

(1) 安全・安心で温かな教育環境づくり

①一人一人の児童生徒が安心して学習や生活ができる教育環境づくりの推進
（事故等の未然防止、危機管理体制の強化）
②児童生徒理解の促進と児童生徒・家庭支援の充実、食育・健康教育の推進

(2) 一人一人の学びに寄り添う授業づくり

①的確な障害の状態等の把握、教科等と関連を図った自立活動の指導の充実
②育成を目指す資質・能力を踏まえた教科等の適切な指導目標の設定と学習評価
（主体的な学びを促す授業実践の蓄積等）

(3) 一人一人の自立と社会参加に向けた地域に根ざしたキャリア教育の推進

①系統的なキャリア教育の推進と教育課程編成の工夫・改善
（県就労支援充実事業、コミュニティースクール）
②「働く」意欲を高める授業実践の蓄積、「キャリア・パスポート」の効果的な活用

(4) センター的機能をいかした地域の特別支援教育の充実

①幼保・小・中・高校等への巡回相談における特別支援教育に関する助言・援助の充実
②学校公開や研修会等をとおした特別支援教育に関する情報の積極的な発信・情報共有
（県特別支援教育推進体制充実事業）

(5) 教職員の「働きがい」や「生きがい」を保障するための働き方改革と教職員のコンプライアンス確保に向けた取組の推進

①教職員コンプライアンス推進計画に基づく風通しのよい職場づくり、コンプライアンス意識の醸成
（定期的・継続的な教職員コンプライアンス実践研修、コンプライアンスアンケート結果の分析　等）
②会議時間の短縮や学校行事の見直し等による時間外勤務の削減と児童生徒の指導・支援に係る時間の創出